

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成 24 年2月6日

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---------|---------------------------------------|-----------|--|
| 事業所番号 | 3473200388 | | |
| 法人名 | 医療法人社団たくみ会きむらクリニック | | |
| 事業所名 | 安芸ひまわり | | |
| 所在地 | 広島県安芸郡海田町日の出町2-9 (電話) 082-821-2525 | | |
| 自己評価作成日 | 平成23年12月9日 | 評価結果市町受理日 | |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3473200388&SCD=320&PCD=34 |
|-------------|---|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|-------|--------------------|
| 評価機関名 | 社団法人広島県シルバーサービス振興会 |
| 所在地 | 広島市南区皆実町一丁目6-29 |
| 訪問調査日 | 平成24年1月27日 |

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

| |
|--|
| <p>クリニックが経営しているので、医療、薬剂的にバックアップ体制が整っている。</p> |
|--|

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

| |
|--|
| <p>経営母体の医療機関の協力・連携のもと、朝・夕ホームを来訪する看護師が入居者の健康状態を主治医に報告し、迅速な対応がなされている。運営姿勢である「1人の人間としての尊重される生活」を基に、入居者一人ひとりが、笑顔で毎日を過ごせるようにと考え、職員は常に気配りをして欲しいと指導されている。職員は、清潔・言葉使い・挨拶がホームでの生活で大事であり、基本である事を確認・共有し実践している。また、入居者の健康状態を少しでも保持する為に、「1日の中で一歩でも二歩でも歩こう、動こう」の支援に全職員で取り組んでいる。</p> |
|--|

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|--|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。 | 地域の人たちとの交流を通して、地域の一員として暮らしていけるように支えていくことをミーティングや掲示により確認をしている。目標を立てたりしている。 | 法人理念「地域社会に貢献、奉仕する」をリーダー会議や職員ミーティングの中で確認・共有し、実践につなげている。 | 法人の理念を職員がより共有し実践するために、今後は年間の行動目標を設定し全職員で取り組み、目標の達成状況を評価することを期待します。 |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | 近所の人たちとのあいさつ、お話、声かけをしたり、祭りなどの行事の参加やボランティアの受け入れをしている。 | 町内会に加入し、秋祭りや福祉センター祭り等に入居者と共に参加している。また、地域の中学生の職場体験を毎年受け入れている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | 会議で説明をし、理解をしてもらい、地域の行事の参加や子供たちとの交流をしている。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 会議での出席者の意見を会議後のミーティングで検討、対応をしている。 | 昨年度は、出席者の都合等で3ヵ月に1回の開催となった。利用者家族や住民代表、民生委員、行政職員等が参加されており、事業の報告や、意見・要望、地域との連携における課題等が協議・検討されている。避難訓練への地域住民の参加要請に賛同を得ている。 | 2ヵ月毎の開催と家族の参加人数を増やしたり、行政関係者の参加を多くする等して頂き、幅広い活発な意見交換が出来る場となる事を期待します。 |
| 5 | 4 | ○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。 | 管理者が町の方へ訪問をしたり、町の職員が来られたりして、話をする機会を作っている。 | 管理者が町へ出向いたり、町の担当者が来所したりしている。また、運営推進会議を通じてアドバイスを受ける等日頃から協力関係が出来ている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | <p>身体拘束をしないようにミーティングや資料の回覧などで確認をして理解するようにしている。やむをえない場合を除いて、鍵をかけないようにしている。</p> | <p>職員は、事業所内の勉強会で身体拘束に関し正しく理解しており、ミーティングで確認をしながら、抑制しないケアの実践に取り組んでいる。</p> | |
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> | <p>会議、講習会、資料などで理解をする機会を設け、虐待が見過ごされることがないように職員同士が気をつけている。</p> | | |
| 8 | | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p> | <p>セミナーや勉強会の参加や資料などで学ぶ機会を設けている。必要性があれば、その都度対応をしている。</p> | | |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> | <p>契約の凍結、解約、改定などは、利用者やその家族が納得できるように説明をして、相互に理解するようにしている。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p> | <p>随時、担当の職員や管理者が話し合いの機会を設け、即、対応している。町への連絡先は契約書に表示しており、運営推進会議で報告している。</p> | <p>日頃から、職員と管理者が家族面会時に積極的に声掛けをし、要望を聞くようにしている。そこでの意見や要望を運営推進会議で報告し、運営に反映させている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | 定期的リーダー会議をしており、必要性があれば、随時、対応している。 | 職員ミーティングやリーダー会議において、各自意見や提案を出し合い、運営に反映させている。職員の提案で、職員一人ひとりの昼休み時間が工夫され、確保された事例も確認された。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。 | 各職員の実績に応じて、担当や責任を持たせたりして、それらに対して給料に反映をしている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。 | 機会を見て、研修会に参加させたり、現場で指導したりしている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | 地域の特別養護老人ホームや居宅介護支援事業所、地域包括センターなどの交流機会があり、情報交換をしている。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。 | 本人からの意見を聞いたり、質問したりして、理解、納得出来るように説明をしながら進めていくようにしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。 | 家族からの意見を聞いたり、質問したりして、理解、納得出来るように説明をしながら進めていくようにしている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | 本人や家族などから現状、要望を聞いて、今必要としているサービスを検討して、対応している。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。 | 職員は本人との一方的な立場にならないように、相互が学び、理解し、支えていき、信頼感がよくなるようにしている。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。 | 職員と家族がお互いに相談し、考えてもらいながら信頼感関係をよくして、本人を支えていくようにしている。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | 機会を見て、馴染みの人に連絡し面会に来てもらったり、馴染みの場所に訪問したりしている。 | 入居者の思いを大切にし、馴染みの関係を継続するように努めている。入居者の知人に会いたいとの要望に対し、職員が連絡をし、面会に来てもらったりしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | いろいろな行事を開催したり、参加したりして、利用者同士の交流をしている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | 必要に応じて、利用者や家族などには連絡を取り合ったり、面会したりして関係がなくならないようにしている。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 本人の要望をできるだけ意向に沿うようにして、難しいことは説明をして納得出来るようにしている。 | 入居者との日常会話を大切にし、入居者一人ひとりの状況や意向の把握に努め、入居者の立場に立った対応を心がけている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 今まで暮らしてきた環境を考慮しながら、本人に合った環境づくりを整えるようにしている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | 本人の状況をみながら、出来ること、支えていくところを見極めながら対応している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p> | <p>本人、家族などの意見を取り入れ、ミーティングで検討し、現状を踏まえて、介護計画に反映している。</p> | <p>本人や家族には日頃のかかわりの中で思いや希望を聞き、職員ミーティングで話し合い、計画作成者がケアプランを作成している。モニタリングも、職員の話合いにより作成している。</p> | |
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p> | <p>日々の様子などは各本人の記録に記入しており、ミーティングで検討して介護計画を見直し、実践している。</p> | | |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p> | <p>今までの環境に応じて、事業所で出来る範囲のことは、随時、柔軟に対応している。</p> | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p> | <p>本人の意向に応じて、地域の行事に参加したり、ボランティアの方々に協力をしてもらいながら支援している。</p> | | |
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p> | <p>本人や家族などの要望を取り入れたりと、かかりつけ医と事業所の関係をよくしていくようにしている。必要があれば、他の医療機関の受け入れも対応している。</p> | <p>経営母体の医療機関が協力病院であり、主治医が週に1回往診し、看護師が朝夕、ホームに訪問し、入居者一人ひとりの健康状況を把握している。また、入居者が希望する医療機関での受診支援もしている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。 | 介護職員はいつでも看護職員との相談ができ、必要であればいつでも受診や看護を受けられるようにしている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | いつでも対応が出来るように情報交換をして、地域の医療機関との連携に努めている。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | 本人や家族などの意向に沿うように、関係者と協議しながら納得できるように進めている。 | 事業所として看取りは行う方針であり、過去に看取りを行ったことがある。今後も医療機関と連携し、本人や家族の意向を踏まえて、ホームが看取ることが出来るまで支援を行っていく。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。 | ミーティングで情報を共有して、基本的なマニュアルを作成して取り組んでいる。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 | 消防署との協力により避難訓練を実施したり、運営推進会議で地域の関係者の方々に協力をお願いしている。 | 消防署の協力を経て、地域関係者にも参加頂き、避難訓練・避難経路の確認・消火器の使い方などの訓練を定期的に行っている。運営推進会議で災害時の地域住民への協力を決定頂く等、地域との協力体制も出来ている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | 一人ひとりの人格に尊重して、気分を害さないよう丁寧な言葉で対応している。 | 入居者に対して「誇りやプライバシーを損ねない丁寧な言葉」を使うことが大事であると考え、職員に言葉使いに注意するよう徹底指導している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | 本人の意向に沿うように、声かけや誘導したりして出来るように進めている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 一人ひとりの状況を把握して、希望に合うように心掛けている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | 本人の意向に沿うように、出来ることは職員が対応したり、美容院の方に来てもらって整えたりしている。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 出来る限り一人ひとりの好みに合うように工夫して、職員と一緒に食事などを行っている。正月や敬老の日には特別な弁当を準備している。 | 職員は、入居者に話しかけ、入居者の食べたい物や好みを聞き、献立作りをしている。おかず海苔を付けるなど、入居者一人ひとりの好みに出来るだけ対応し、職員と一緒に楽しみながらの食事が出来ている。正月や敬老の日には特別なお弁当を準備し、それを、入居者は心待ちにしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p> | 一人ひとりの毎食の記録をみれば状況が分かるようにしており、状態を見ながら対応している。 | | |
| 42 | | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p> | 毎食後、一人ひとり歯磨きをしており、定期的に歯医者が来られ診てもらっている。 | | |
| 43 | 16 | <p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p> | 定期的にトイレへ誘導して、トイレで排泄をしてもらい、失敗やおむつの使用を減らすようにしている。 | 入居者一人ひとりの排泄パターンを把握して、トイレ誘導をしている。トイレでの排泄支援に力を入れ、排泄の失敗やおむつの使用を減らせるよう心がけている。 | |
| 44 | | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p> | 医師、薬剤師、看護師に相談して、食事の改善、運動の取り入れをしながら便秘に対応し、予防をしている。 | | |
| 45 | 17 | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p> | 出来るだけ一人ひとりの希望を取り入れながら、入浴を楽しむように対応している。 | 大まかな入浴の時間帯は決められているが、入居者一人ひとりの希望を優先している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している。 | 一人ひとりの状態をみながら、 いつでも休んだり、眠ったりで きるように対応している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。 | 一人ひとりの薬についての資料 が薬局から届いており、それら を理解して、服薬をして状況を 確認している。何かあれば薬 剤師に、随時相談出来るように している。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。 | 今までの暮らしの環境を考慮し て、役割を担当してもらったり 、一緒に散歩に出かけたり、編 み物をしたりして、それぞれの 楽しみごとに対応している。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。 | 希望に沿って、散歩をしたり、 買い物をしたり、お墓参り、外 食などに出かけたりしている。 | 天気の良い日は散歩に行くよう にしているが、車椅子の入居者 が多いので、遠出が難しい状 況である。しかし、入居者のそ の日の気分や体調に合わせて、 散歩や買い物に出かけたり、外 食や墓参りなどに出かける事も ある。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。 | 一緒に買い物に出かけ、お金を 使えるようにしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。 | 希望があれば、いつでも電話をしたり、手紙のやり取りが出来るように対応している。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 季節ごとに模様を替えたり、花やみどりを取り入れたりして、過ごしやすい環境を作るように心掛けている。 | ホーム内は廊下など障害物もなく掃除も行き届き、清潔で機能性に富んだ環境に整備されている。食堂兼居間は、適温に管理され快適な空間となっており、壁には季節ごとの飾り物や花が飾られ、居心地よく過ごせるよう工夫をされている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | リビングでのソファ、多目的ホール、応接室、職員室、屋上など自由に過ごせるようにしている。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 本人や家族の意向に沿って、馴染みのものや写真などを持ってきてもらい、置いたり飾ったりして、工夫をしている。 | 寝具やダンス、写真や思い出の品々が持ち込まれ、入居者一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫されている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | バリアフリーに対応、廊下やトイレに手すりを取り付けたり、歩行練習や運動する機械などを置いている。 | | |

| V アウトカム項目 | | | |
|-----------|---|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 | ○ | ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている | ○ | ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない |

| | | | |
|----|---|---|---|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | <input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない |

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 安芸ひまわり

作成日 平成24年 4月11日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点, 課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|--|-------------------------|-----------------------------|------------|
| 1 | 1 | 法人の理念を全職員が共有、実践出来ていないことがある。 | 会議の回数を多くし、行政関係者の出席を増やす。 | 早めに会議の予定を調整をしたり、他の出席者を検討する。 | 三か月 |
| 2 | 4 | 出席者の予定により調整がうまくできず開催が少なくなり、行政関係者の参加が少ない。 | 会議の回数を多くし、行政関係者の出席を増やす。 | 早めに会議の予定を調整をしたり、他の出席者を検討する。 | 三か月 |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。